

小樽商科大学地域研究会シンポジウム

グローバリズムと 地域経済

—北海道の強みを活かす組織構築—

北海道が今後、生き残り発展するためにどのような企業、産業、行政、あるいはALL北海道の組織が必要とされるか？その組織構築のためには、どのような人材や資金、さらには合意の形成が求められるか？

入場無料
要申し込み
定員150名

日時

3月7日(金) 15時00分開演 (14時30分開場)
18時00分閉会

会場

研修施設ACU 大研修室1606
(札幌市中央区北4条5丁目1 アスティ45ビル 16階)



〔基調講演〕

東京大学大学院経済学研究科教授・
ものづくり経営研究センター長／技術・生産管理

藤本 隆宏 教授

講師略歴

1979年東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社。1989年ハーバード大学ビジネススクール博士号取得、同大学研究員となる。1990年東京大学経済学部助教授。1997年ハーバード大学ビジネススクール上級研究員。1998年東京大学経済学研究科教授。2004年東京大学ものづくり経営研究センター長。「統合型ものづくりシステム」の一般体系化やアーキテクチャの理論・実証的研究に取り組み、東京大学ものづくりインストラクター養成スクールのコーディネーターを兼務。

プログラム

1. 開会挨拶
2. 基調講演 藤本隆宏(東京大学ものづくり経営研究センター長)
3. パネルディスカッション
司会 菅原 淳(北海道新聞編集局経済部長)
町野和夫(北海道大学公共政策大学院教授・
大学院経済学研究科地域経済経営ネットワーク研究センター長)／応用ミクロ経済学
山道勝則(株式会社バイオニアジャパン会長)
穴沢 眞(小樽商科大学商学部商学科教授・
国際交流センター長・地域研究会代表)／アジア経済・多国籍企業論
加藤敬太(小樽商科大学商学部商学科准教授)／経営組織論・経営戦略論
4. 閉会挨拶

シンポジウムへの参加は事前申し込み制となっております。詳しくは裏面をご確認ください。